

氏名	中務日出輝
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博甲第 3777 号
学位授与の日付	平成20年12月31日
学位授与の要件	医歯学総合研究科病態制御科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	Circulating Leptin and Angiogenic Factors in Preeclampsia Patients (妊娠高血圧腎症におけるレプチンと血管新生因子の関与)
論文審査委員	教授 榎野博史 教授 小出典男 准教授 大橋俊孝

学位論文内容の要旨

我々は血管内皮の機能維持に深く関与しているアディポネクチン分泌異常が肥満妊婦における妊娠高血圧腎症(PE)発症に関与していることを報告してきた。今回、PEの病態におけるアディポネクチンや血管新生因子と協同したレプチンの役割を解明するため、血清中のレプチン、アディポネクチン、可溶性血管内皮増殖因子受容体(sFlt-1, sFlk-1)濃度について測定した。レプチンとアディポネクチンはPE群で正常群と比べて有意に高かった。レプチン/アディポネクチン比は正常妊娠の肥満群で正常体重群より有意に高かった。レプチンとアディポネクチンは正常群でのみ負の相関を示した。また、PE群においてレプチンとsFlt-1は負の相関を示し、レプチン/sFlt-1比高値群では低値群と比べて平均血圧が有意に高く、蛋白尿は少なかった。出生時体重で比較するとPE群でレプチン値は子宮内胎児発育遅延群が正常体重群より高かった。PEでは血液中のレプチンとアディポネクチンの調節機構、産生臓器が異なると考えられた。また、レプチンは血管新生因子と同様にPEの病態に関与していることが示唆された。

論文審査結果の要旨

本研究は、妊娠高血圧腎症(PE)の病態におけるアディポネクチンとレプチンを検討したものであるが、血清中のアディポネクチンとレプチン値より、PEでは血液中のレプチンとアディポネクチンの調節機構、産生臓器が異なると考えられた。また、レプチンは血管新生因子と同様にPEの病態に関与していることが示唆され、重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。